

第14回 POTTオンライン学習会報告

ポジショニングで (P)食べる (T)喜びを伝える (T) 担当：広島ブロック

2023年 12月 9日(土)19:00～21:10

1部 講演:食べる喜びを伝えるスキル
-口腔ケアのスキルアップをめざそう-

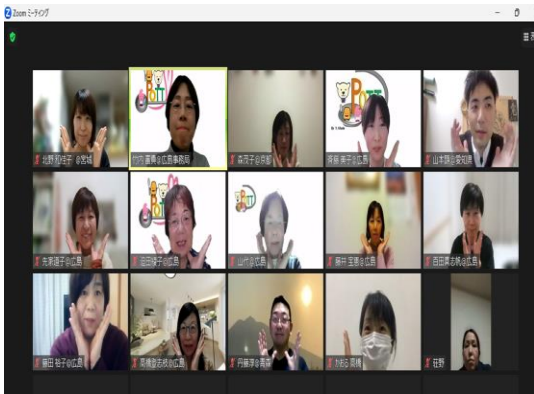
講師:有友たかね先生(歯科衛生士)
東京歯科大学短期大学歯科衛生学科講師

2部 活動報告

①先家 道子氏 「口腔ケアから食支援～POTTを活用した多職種連携～」 大野浦病院 歯科衛生士
②百田 真志帆氏 「感染隔離化での対応苦汁事例」 一陽会原田病院 看護師

3部 交流会

口から食べる楽しみの支援の充実には多職種の専門性を生かしたケアが重要であり、1つの専門職だけでは支えられないためすり合わせが必要だということ。また、ICFの考え方が根付いてきたことで、どこでどの専門職が関わるかが明確化され、それにより利用者のQOLの向上につながっているとのこと。日常私たちが行う口腔ケアと歯科の口腔ケアの違い、口腔観察や具体的な実践について講演をいただきました。



【参加者アンケート結果】

学習会は参考になりましたか。



次回学習会
4月20日19時
講師:北出先生
姿勢と呼吸リハ

3)参考になった内容

- ・口腔ケアの方法が詳しく学ぶことができ勉強になりました。明日から歯の磨きかた一歯3方向でケアします
- ・口腔ケアのエビデンスから実際のケアまでお話しが具体的にわかりやすかったです。活動報告も多職種共働のあり方や巻き込みかたも参考になった。困難な事例や普段から改めて観察しなければいけないことも初心にかえて行いたい。
- ・歯の詳しい磨きかたや注意点
- ・プラークの除去には、破壊と回収が必要であり、1ヶ所に10秒かけて歯磨きが効果的であること。
- ・"有友先生の講義全てが参考になりました。電動ブラシの効果、選び方や使い方をもっと知らせて欲しいです。活動報告も現状の中で努力されていることを頼もしく元気いただきました。
- ・口腔ケア内容、口腔ケア方法
- ・自施設で口腔ケアを情報共有していく中で、歯ブラシの持ち方や1歯3方向でケアを行う等の伝え方が参考になりました。ありがとうございました。
- ・いつも取り組んでいる口腔ケアの見直しができ来ました。また参加者の方々の日常での口腔ケアの取り組み、また口腔ケアの困り事などを伺う事ができ自分のモチベーションにつながりました。
- ・ICFの視点に立った口腔ケアの介入・口腔ケア方法(ブラッシング 歯間ブラシ スポンジブラシなど改めて学ぶことができた)
- ・口腔ケアのより具体的な方法を知ることができた

4)学習会について今後の改善点や要望

- ・今後も楽しみにしております。
- ・北出先生の講義、期待しています。小児のポジショニングも希望です。
- ・グループワークも込みで時間がかかっているのが気になります。途中退席も目立つので、改善が必要かと思いました。
- ・まだまだ慣れないズームに、上手く対応できず申し訳ありませんでした。
- ・本日の活動報告についても 事例や取り組みなどより良いケアに向けて努力されている事がわかり とても参考になりました。今後も様々な施設での活動報告を聞きたいたいです。意見交換は事前に検討内容を提示、人数も多く不消化で終わるのでもう少し時間があるといい。

5)POTTプロジェクト活動についての提案やご意見

- ・多くの方に活動をお知らせ下さい。
- ・機会があれば研修会に参加させて頂きたいと思います。

6)活動報告 研究発表 事例検討 研修の希望

POTTの基本を再度お願いします

7)その他

- ・言語聴覚士の方の発表も聞いてみたいです。別の着眼点を知り、看護や介護、歯科などへの要望なども聞いてみたいと思いました。(当院のリハビリの方はポジショニングに課題があります)
- ・本日は大変ありがとうございました。再度口腔ケアを振り返る良い機会となりました。やはり食べる事を支援するのは多職種でなければ上手くいかないと感じる日々です。

まとめ

食べるための基本的ケアは、ポジショニングと共に口腔ケアを適切に実施することで、今回は口腔ケアを企画しました。学習会では、臨床と教育現場の第一線で活動されている有友先生の講演。すぐ実践できることが満載でとても参考になりました。参加者は年末で少なかったのですが、現場での口腔ケアの見直しや実践されていると期待しています。活動報告では、コロナ禍での組織的な実践紹介。お二人の真摯に向き合うケアに感動しました。第15回は4月20日です。